



夢・いっぱい

第2号

令和6年4月22日

○ 2024年度の経営方針

今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい「あったかい」学校づくり

～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

【スローガン】「大好きな自分に・大好きな学校(仲間)に・大好きな地域に」



「大好きな自分に」「大好きな学校に」「大好きな地域に」

校長 宮崎 純一

4月8日の始業式では、2～6年生に次のような話をしました。

地域やご家庭でも子どもたちを見守り、支えていただきますようお願いいたします。

一つずつ学年が上がった皆さんに「大好き」になってほしいことが3つあります。

◆一つ目は「自分」です。

皆さんに聞いてみます。目を閉じてください。

自分のことが好きな人？(数人の児童が手を挙げました。)

自分の好きなところが言える人？(数人の児童が手を挙げました。)

「大好きな自分に」なるために、まずは自分の良いところに気付いてください。見つけてください。先生方や友だちも皆さんの良いところを教えてください。自分の良いところに気付いて、もっと「大好きな自分に」するために、自分にできることを考えて、頑張りましょう。

◆二つ目は「学校」です。

これは、先生たちも含めた皆さんの力が必要です。大好きな仲間、大好きな遊び、大好きな時間、大好きな勉強など皆さんの大好きが詰まった学校で、明日も行きたいと思える学校にしていきたいですね。

◆三つ目は「地域」です。

昨年度も、どの学年も地域の方にお世話になったり、学校から出て地域での学習や活動がありましたね。地域の人やモノについてしっかり知って、もっともっと愛宕の地域を好きになってください。そして、地域のためにできることに挑戦してみてください。挨拶もその一つですよ。

「大好きな自分に」「大好きな学校に」「大好きな地域に」するのは、「誰かが」してくれるのではなく「皆さん自身」です。一年間みんなで頑張りましょう。

1年生の応援団 ～あいがとうございます～

学校生活の様々な場面で不安を感じることも多い1年生を6年生や家庭教育支援員さんなど、たくさんの方が優しく支えてくださっています。小学校生活をスタートしたばかりの1年生の子どもたちの心強い応援団になってくれています。

6年生

朝、登校してくる1年生を迎え、教室まで案内したり、教室での朝の準備を手伝ったりしてくれました。1年生にとって優しく声をかけながらお世話をしてくれる6年生の存在は、小学校での生活に安心感を与えてくれていると思います。

家庭教育支援員

1年生の各クラスに入り、困っている子のそばに寄り添い、声をかけてくださっています。必要に応じて「朝のランドセルの片付け」、「トイレのお世話」、「授業中の支援」、「給食の準備の手伝い」など、1年生が「自分でできるようになること」を目標にしながら優しく支えてくださっています。